

**拠点名称：「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点**

<b>代表機関</b>	熊本県立大学	<b>プロジェクトリーダー</b>	島谷幸宏 熊本県立大学 共通教育センター 特別教授
<b>幹事自治体</b>	熊本県	<b>幹事機関</b>	肥後銀行
<b>参画機関</b>	(大学等) 熊本大学、大正大学、名古屋工業大学、信州大学、九州大学、第一工科大学、九州産業大学、東京大学、滋賀県立大学、熊本高等専門学校、公益財団法人地方経済総合研究所 (企業等) 株式会社テレビ熊本、株式会社ライズナー、株式会社リバー・ヴィレッジ、アジア航測株式会社、株式会社建設技術研究所、株式会社フクユー緑地、株式会社ネオコンクリート、三井住友海上火災保険株式会社		

**プロジェクトの概要**

本拠点は、2020年7月豪雨により、大水害に見舞われた球磨川流域を対象に、10年後を見据え「緑の流域治水を核とした大災害後も安全・安心に生き続けられ、豊かな環境と若者が残り集う持続可能な地域の実現」をビジョンとし、代表機関：熊本県立大学、幹事自治体：熊本県、幹事企業：肥後銀行という体制で産学官の地域共創拠点を形成し、水害後の持続的な地域への復興という課題に対して、その解決を図るものである。

「水害への安全・安心」「豊かな環境と恵みのある暮らし」「若者が残り集う地域」「多世代による緑の流域治水の達成」をターゲットとし、「緑の流域治水」に関わる流域治水技術開発、ボトムアップ型統合計画論、環境再生手法、ボトムアップ型地域DX、サステイナブルな産業創出、パートナーシップによる推進手法について研究を実施し、球磨川流域の持続的発展に資する。

